

『第14回ジャーブネット全国決起大会』を開催

方針「経営道と匠の心(技)を極め 全社が『現代の名棟梁』を目指す」

「自己資本比率30%以上」「無借金経営」「後継者育成」の実現へ

全国最大の工務店ネットワーク「ジャーブネット」(主宰：株式会社アキュラホーム 代表取締役社長 宮沢俊哉、東京都新宿区)は、7月4日(木)、目黒雅叙園(東京都目黒区)に於いて「第14回ジャーブネット全国決起大会」を開催しました。ジャーブネット会員など総勢460名が一堂に会し昨年度の実績を振り返るとともに、シンポジウム(※1)や今年度方針を通して住まいと地域を守り“永代続く優良ビルダー”となることを共有しました。

■ 第14回ジャーブネット 全国決起大会 概要

- 名称：第14回ジャーブネット全国決起大会
実施会場：目黒雅叙園(東京都目黒区)
対象者：ジャーブネット会員他
開催日：2013年7月4日(木)
主催：ジャーブネット
参加：460名



第14回ジャーブネット全国決起大会の様子

■ ジャーブネット昨年度実績と今年度方針発表(主宰：宮沢俊哉)

昨年度実績：注文棟数 7638 棟、累計 10 万棟超、平均注文棟数 20.6 棟 (5 年間で 6 棟増)

ジャーブネットは1998年の発足から今年で15周年を迎え、全国大会開催は14回目となりました。この全国大会は年に1回、全国各地の会員とアキュラホーム幹部社員が集い、1年間の活動実績を発表してその成果を称え、当年の方針を共有する場として開催しています。これまでの活動を通して、会員だけでなく、学会関係者、行政、住宅関連団体、一般の方へも開かれた会として発展してきました。

昨年度(2012年度)は、基本方針「日本最優良ビルダーネットワークを目指して」のもと住宅供給を行い、注文棟数は7,638棟、発足15年目にして累計10万棟を超えました。会員数は338社と前年度の350社から微減(前年比97%)していますが、会員1社あたりの平均注文棟数は20.6棟(アキュラホームの実績は含まず工務店会員277社を対象)と、2007年の14.6棟から5年間で6棟伸ばしています。業界では20棟未満の工務店が急速に廃業、退場を余儀なくされるなか、会員各社は着実な成長を遂げています。また、2009年より会員から選出されて結成したリーディングメンバー15社による「リーディングプロジェクト」は、「自己資本比率30%以上」「無借金経営」「後継者育成、事業継承」等の課題に取り組み、自己資本比率63%の千田工務店(岩手県)を筆頭に5社が30%以上を達成。無借金経営についてはクレセントホーム(佐賀県)など6社、後継者育成はアート建工(鳥取県)など7社で成果を挙げています。今後は会員の成長を支援する師範代、世話人としてステージアップします。更に、2011年から行われている経営力強化支援事業「永代ビルダー塾」には現在64社が参加し、実践的な情報共有などを通じて永代続く優良ビルダーへの布石としています。

今年度方針：経営道と匠の心(技)を極め、全社が『現代の名棟梁』を目指す

今年度(2013年度)基本方針は「経営道と匠の心(技)を極め、全社が『現代の名棟梁』を目指す」とします。そして以下の7項目を重点施策としました。①「優良ビルダーの実践情報の共有」には、ニュース・通信・WEBの活用とともに研修やキャラバンを実施。②「永代ビルダー塾の更なる推進」は参加

塾生の目標を「完工棟数 20 棟」「自己資本比率 30%以上」として一層の推進に取り組みます。③「師範代塾の更なる充実」では師範代が塾を主催し、これまでの経験をジャブネットに循環させます。④「KAIZEN (カイゼン) プロジェクト」においては、これまで実施してきたことを更に強化し、全会員が意見を出し合い現場力の向上を図っていきます。⑤「戦略商品開発プロジェクト」は、アキュラホームの 8 事業部と本社がそれぞれの地域特性に合わせた試考棟を実施。第一弾として 9 月に 2 棟完成予定となっており、順次会員へも展開していきます。⑥「木造住宅の良さを更に引き出す活動の推進」としては国策である木材利用ポイントの活用。住宅における銘木・大黒柱の利用。社会貢献活動を通して木の良さを知り触れる機会の創出を行っていきます。⑦「永代家守り・地域守りの強化」においては建てて終わりではなく、その後の家守り活動（アフターサービス）から住みごたえや住みこなしを醸成していく住まいづくりを行っていきます。

我々は“日本のあるべき住まいづくり”を追求するにあたって、住まいづくりに対する捉え方が重要だと考えます。つくり手は住まいづくりを通して住まい手に価値ある暮らしを提案するとともに住み継いでいけるよう家守りすることが求められています。それは昔から続く名棟梁と呼ばれる人たちが行ってきたことでもあります。これからの時代を一社で生き残ることは困難ですが、皆で連携を図りながら、名経営者、現代の名棟梁を目指し、永代優良ビルダーとなることで日本の住まいづくりを変えていきたいと考えています。

< 今年度基本方針 >

経営道と匠の心(技)を極め全社が『現代の名棟梁』を目指す

< 今年度重点施策 >

○経営道を極める

1. 優良ビルダーによる実践情報の共有
2. 永代ビルダー塾の更なる推進
3. 師範代塾の更なる充実

○匠の心(技)を極める

4. KAIZEN プロジェクトの開始
5. 戦略商品開発プロジェクトの開始
6. 木造住宅の良さを更に引き出す活動の推進
7. 永代家守り・地域守りの強化

※1 当日に行われましたシンポジウム「地域の木造住宅とその担い手への期待」と、住宅の「デザインコンテスト」・家族の絆を深める「しあわせデザインコンテスト」の表彰につきましては追ってご案内させていただきます。

■ ジャブネット(JAHBnet)とは

ジャブネットは全国 338 社の工務店・ビルダーなどが加盟する工務店ネットワーク組織。アキュラホームが 94 年に独自の住宅建設合理化ノウハウを体系化した「アキュラシステム」を開発。これまでに約 2600 社の全国の工務店に導入されると共に、98 年に（財）日本住宅・木材技術センターの「木造住宅供給支援システム」に認定され、その仕組みをもって工務店組織「アキュラネット」（現ジャブネット）を設立。全国規模のネットワークによるスケールメリット、地域密着企業ならではのダイレクトサービスを併せ持つネットワークとして全国のユーザーに「良質な住宅を適性価格」で提供。

< 本件について報道関係からのお問い合わせ先 >

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・若林 Email: horikosi@aqura.co.jp

住所: 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F TEL:03-6302-5010 (直通) FAX:03-5909-5560

●写真データは右記よりダウンロードすることができます。 <http://www.aqura.co.jp/news.html>